

# 非暴力直接行動

No. 126

6/10 '82

戦争拒否者インター日本部 大阪市阿倍野区旭町2-12-2 ウィル大阪発行

war resisters' international



自由連合よもやま話

助入は自由連合の別名

つながり求めて...

● 「かんばん」っているか、ぼくもかんばんってるぞ、市民運動・住民運動のつながり求めてという呼びかけ文を、こんど、坂口さん書いたやう、あれなかなかよかった。  
あれを書くキッカケみたいのはない?

◆ 10年近く、一人でやってはった吉田さんというおじいさんに僕が加わって、いま二人で、地下鉄の空気をよくする会、というのをやってるわん。

たった二人きりのグループやけど、いざ市役所に抗議にいくとか、地下鉄の駅でゲリラ行動をやる、とかいうことになれば、すぐ五人から十五人くらいのもまだ助っ人にきてくれる。

日頃は、それぞれ自分のことをやりながら、いざ、というときにはかけつけてくれる、この助っ人の関係というのを、とても大事なことやと思ってるねん。

で、この助っ人の関係が、ぼくの個人的なつながりをこえた、もう少しワクを広げたようなものとして、つまり運動の助っ人関係がでへんやろかと考えてるねん。

それと、いま、大阪府がフェニックス計画という開発をやろうとしてるんよ。それに対して賛同状をだそうというところになつて、僕と、新聖港の人と、自然連合の人、三者で文章をつくってこのまゑ府庁に持っていった。それでその時、思ったんやけど、こうした際というか、なにか、パッと機敏に行動せなアカン時、すぐ集まれる体制というか、文章に名前を出すつながりというか、連合関係がつくれへんかなあと思つたわけ。

## 共同ではなく、へ連合！

● ……ちょっと賛同していい？

その…フェニックス計画に賛同状を出すというところで、具体的にひとつの文章を共同でつくって出すとかいうような、つまり、共通な問題や、共通の利害・意志・要求、みたいなもんで一致するときには、ともかく連絡さえすれば、まあ共同行動とか統一行動とかいうのはできると思っねん。

けど、ボクはまあ一歩つっこんだというか、それとは別のものとして連合というのがあると思ってるねん。

坂口くんのよびかけ。いうのも、

従来の共同行動・統一行動というものと質のちがったことを考えて、それが助っ人関係をきっかけに出できたと思っねんけど…

◆ うん。 いままでの集りのように、名まえや教だけをたねるような、集った一人一人を単なる頭数としがみないような運動ではなしに、連合ということを考えたところでのつながりを求める…ということだ。

よびかけは、まずその連合について、みんなどういふふうに考えてるか聞きたいと思ったの。

● うーん。

統一ではない、別の「カ」としての連合いうことを、ぼくなど云つたりするけど、なかなかでけへんし、理解されへん。

ようするに、連合いうてもそれが一体どんなもんかはっきり出されへん。

そやから、話しあにしても具体的な結果が出てけへんやろと（い）う気がするけど。

★ ぼくには連合云つても漠然としていてわからへんなあ。助っ人（い）うことやったらわかる。

たとえば、自分がどういふ運動をつくつたら、まわりの人が助っ人にきやすいか、他のところに助っ人にいくときには、どんな



助っ人をしたらエエ助っ人になるんかとか、そういう具体的な話  
やったらわかるけど、たゞつながらりやとか、連合やとか云うて集  
まっても…

◆ 連合のための具体的な案を、ぼくが出してないというのは、  
その場集まったみんなで話し合っ出て出すことやないかと思っ  
て…というの、以前、ひろば集会、という大きな催しを三回  
ほどやってんけどー

それは、映画あり、分科会あり、バザーあり、討論会あり、と  
いう文字どおり、いろんな反公害・住民・市民運動の、ひろば  
を、ひとつの空間に創りだそうとしたもんやった。

ところが、よびかけ文をつくるのも我々ひろばの事務局・問題  
提起をするのも我々、という具合で、それはとてもまづいやり方  
やったという反省がある。

一からみんな意見を出しあって、みんな決めていけるよ  
うな場を設定することがまず必要やっと思っ。

そやから、こんども、ぼくがあつまりのキッカケはつくったわ  
けやけど、集まって何をするかはみんな考えてつくっていき  
たいんや。



### 違いをみとめる。 というところはー

♥ さあ、みんなで話しあおう、といっ  
ても、よおしやべる人、積極的な人、あんな  
にまかせるわ、という人、へんじだけする人、  
さまざまにちがう人がいる。

民主主義的に、みんなで草案をつくって、みんな決めて、と  
いっても、実さには、裏方に推進していくための、ごく少数の  
一部熱心な人の働きがないと、前へオッまんことになる。つまり、  
「みんなで」というのは表向きだけや。

それがいいかわるいが、現実や。みんなやる、一丸となって  
やるなんてことはできへん。

それをとおしてもやらねばならん、というんやったら、なんら  
かの物理的、あるいは精神的強制力が必要。というより、そのよ  
うな強制力を必要とする思想が、みんな話してあつて、という  
発想のなかに潜在している。それはあきらかにへ自由連合とは  
あべこべのもんや。

◆ 方向性として、極力みんなの意見を出して、それでつくって  
いくことができへんか、というこやねんけど…

♥ みんなが意見を出しあって、というやり方では、もうアカン  
いままでやってたことと中味が変らへん。やっぱし一と団結  
になつてしまふ。という地点から、その問題をどら直すのが出  
発点や。

つまり、少数が、自分が裏方を背負うけど、運動がみんなにひ  
ろがるには、どおしたらいいかという考え方をせなあかんと思っ。  
全部が同じ重みをかぶるのがあたりまえという考え方をなしに、  
むしろその反対。

熱心にやいたいもんは、なんば熱心にやってもええ。力のあり  
っただけを出しても、あいつ熱心やなあどひとからほめられたりす  
ることはあつても、やりすぎやとか、やれへん人のこと考えてな

いとか、くさされたり、足をひっぱられたりはせえへん。  
少ししかやらんもんも、それで批難されることはない。

そのことを全部が納得して、いざというときそれぞれが助っ人として、もっと力を出す—というのがいちばんいいんじゃないかな

## 自由連合は助っ人連合

● ぼくは、助っ人というのを自由連合と切っても切れないものとして考える。自由連合を別のことばでいうと、助っ人連合や。ひろい視野で、運動全体を考えたら、個々それぞれの運動は、相互に助っ人関係というか、連合関係があるとぼくは思うねん。

もっとも、それを自覚的にとらえてなかったら、たゞ自然にそうやというず、ないのとあまりかわらへん。

たとえば、いま反核運動がもり上ってるけど、一見それと関係のない死刑廃止の運動にとっても、それは力になってるし、又その逆のことが反核にもいえると思う。

ぜんぜん目に見えへんような関係でも、運動全体というところでいったら、権力にむかう力として、つながってる。ぼくらがそれに気付かんでも、「権力」は何より強くそれを感じてるやろ。

そういう、実さにある運動の助っ人関係—連合関係を、思想として、実感としてつかんだら、自由連合というのわかる。

ところが、いままでの組織というのは、運動と運動のあいだにある、そんな目に見えない、ボーとしたようなものを、自分の運動の力としてつかむことができないばかりか、あべこべに見捨てたり、ときには妨害物として対立的にとらえていた。

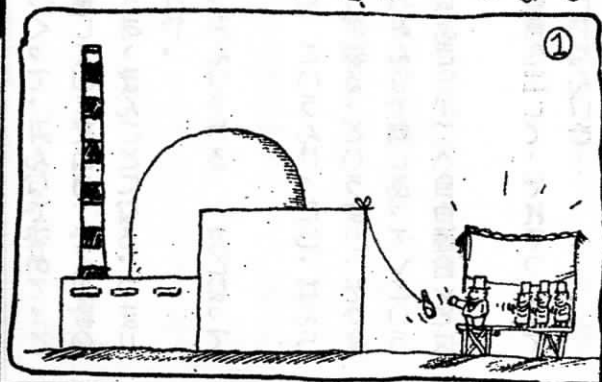
▲ 具体的には、助っ人銀行とか人材銀行なんてのも面白いナア。私たちの軍事費拒否の会でも、人数は知れてるし、やれることにはかぎりがある。他といっしょにやることで、やれることのワクがひろがるし、新しい要素が加わってくる—ということを、助っ人にいったり、きてもうったりするなかで、ホンマに実感してんねん。

● Sさんがいうてるように、個人的なつながりでは、いまわたしたちのまわりでは、助っ人関係がわりあいとできてるように思うねんけど、それは自由連合というより、義理と人情の世界やな。

● まあ、義理でも人情でも、「おーい、手伝いにきてくれー」という声がどんどん運動の中から出るような、大いに商こえてくるような、気軽に叫びかけていけるような雰囲気が出てきたらえねんけど。

● こういう時には、お互いにぜひ助っ人にゆくとかいう申し合せを、相互にするようなことができれば……

▲ あれば「助っ人を求める」というのはちがうやろけど、ナニナニ大結集とかでじらなどもちってデモンストラークやんか。けど、そこで具体的に何をすればよいの



中に思っている人間的な生き方をめぐる価値、これらのできごとをひとびとに伝える紙面をめざしています。

社会  
大阪市北区  
電話 大阪(06)  
郵便振替口座

よくのり  
月三三三三

かわからへん。ただ「数」としての、すでに決められたワクの中で参加をよびかけられてるだけやもんか。

● そんな参加でもへ助っ人といえるやろか。

▲ へ助っ人といえるのは、受入れ側がその考え方をもってへんかったらでけへんのかな。

● 実際のところでは、微妙なところなあ。

助っ人が、受入れ側という話合って、意見が一致したところでやるというのは、今迄にもやってきたことで、それができても、主従関係になったり、最後のまとまりやすいところでの妥協でしかなかったりする。それはちよつと似てるけど、例えば、へ多様性とか、各人の特質や能力をそれぞれが發揮する自由連合の意味での助っ人とは全くちがうもんやろ。

● といって、助っ人の方から「自由連合とは何か」などと相手にその意味を納得してもらって、その納得の上でなければでけへんというのでは、それこそ自由連合のおしつけや。よほどのことではないと、そんな助っ人お断り、いうことになる。かりに相手が切実に助っ人を求めていて、それをのむとしても、それは妥協しただけで承服したわけでない。

● というと、一体どうしたら助っ人になれるのか……

## 一方的・片思い的助っ人

● そう何でもないこっちゃ

つまり受入れ側に何も求めず要求もせず、こっちの一方的、片思い的に助っ人をやっただけえねん。

● それはつまり「規律に従って、求める範囲のことを、それ以上でも以下でもなく、やってほしい」という受入れ側の指令に従うということやんか。

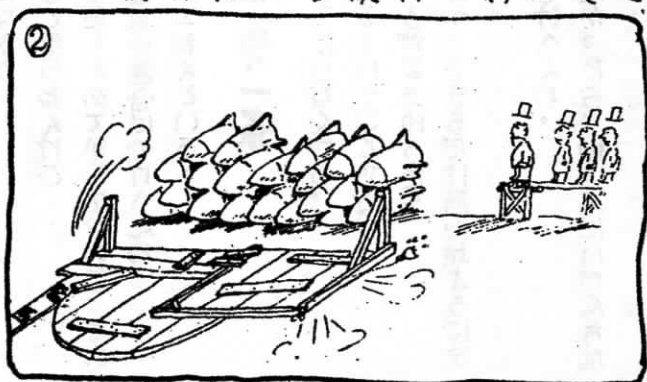
● そうや、そのこと 相手の利用主義とか、統制主義を充分承知の上で、自分のやれること見つけるわけや。

● せやから、何から何までべつたり、何でもというのではなくへ部分的、限定的に自分のやれる役割をえらんでやる助っんや。

▲ 一方的片おもひ的助っんやたら、自由連合の相互的ひろがりが生れて来えへんのとちがう。

● そうそうなんやけど、いま運動のなかではへ自由連合といふことの意味が、誰にも理解されとれへん。「多様性は力や」など一応は云われるけど、現実の組織や運動の中に、その具体的なモデルが見当らへん。その証拠には、どんなゆるやかな運動であっても、何かのとき、必ず潜在していた中央集権的で統一的な考え方ややり方が、衣の下にヨロイでちらちらと出す。

つまり、自由連合というばくらの主張は、いまはまじでトッピすぎ、新しすぎ、異端視されて、受け入れへんというのが、今の



状況や。

## 組織とてなく、運動との連合

なんど「自由連合とは」いうてリクツをしゃべっても、その実証的見本なしでは、納得してもらわれへん。

そこで一方的、片思い的な助っ人からはじめて、事実行熟で納得してもらうよりしうがないということになる。

● それがどうやってひろがるかという展望は？

● 助っ人利用主義が、助っ人との関係性を媒介として変わる。いいかえたら、まず、さまざまな助っ人の存在こそが、自分の運動の力やというところに気付くやろ。

次に、助っ人の受入れだけでなく、時には、他の助っ人に出ていくこともまた、運動の力になる。というところがだんだんわかってくる。

さっき▲さんが云うてたことはそれや。

● 一方的助っ人いうことやけど、あたしなんか好き嫌いがはっきりから好きなどには助っ人にいくけど、引きまわしが出てきそうなどには、出ていく気がせえへん。

● イヤなどにはいかんといだらええ。体はひとつしかない。時間も金もない。せいぜい自分の好きなところをつまみぐいする助っ人でも大したことやで。

● そんなことでエエのん

● けど、組織としてイヤなどにはあっても、運動としてイヤなどにはないはずやで。運動総体としてみて、たとえば日共の活動

がジャマになるなんていうのは見当がいがい。

なんでもかいうたら、運動はみなつながっている。ほかかいうしうけん命やっていることが、ぼくらの力のうちや。というところがわかったら、そこには助け合うー助っ人ーという関係しか出てこんはずや。

● たしかにみんなつながりたいと思ってる。助けあわなあかん、と思ってると思っ

それで、お互いもっと知りあわなあかん。浅い関係ではアカン、一方的片思い的でなく、もっと深い信頼関係をつくりださなあかんー

いうことがいつも求められていると思っねんけど……

● その、相手の正体をはっきりたしかめてからでないで、という、その考えをまずおぼろげな自由連合はでけへんわ。部分的、限定的、浅い関係がエエねんという……

## 助っ人の心得・オ一条

● 助っ人稼業のところがまえゆうたらなんやろ。

● 相手に受入れられるようにするーいうことやな。

● 助っ人を受け入れる側のところがまえゆうたら……

● そりゃあ、助っ人の好きがよう、できるだけ居心地よくする、助っ人を立てる、いうことや。

● うち、そんなん、ごうちもでけへんわ。

● 受入れられるようにでけへんかったら、助っ人にいかん方がい。



「こっちは、すでにはじめから異端者や。他の人といっしょにやるためには、相手のリクツをどれだけとりいれるかというところしかない。」

自分がゆるめるのが原則や。助っ人は自分の主義主張をやったらアカン。ゆるられへんかったら、やってくることにリクツをつけないで、黙って帰ってきたらいい。その時はまかせようやない。

なにより、足きひっぱらないことや。ぶっつい助っ人やねんでー

▲……ほんまに、ほんまにどうやなあ。

●……たくさん、いろんな運動がある、それがどんどん活動するとうことがへた様なカレや。

ひとつの党や、グループがいろいろなことをやってるのはへた様のカレではない。一見、こんでもないようなもんまでが入っているというところの方が、権力にとっては、ずっとイヤなことなんや。

あっちむいたり、こっちむいたり、(こっちは)こっちは、お互い、助っ人関係でつながってるといって、(こっちは)は、さきり意識することができたや、それが、カレや。

◆足きひっぱらないとしたら、もう助け合うというところしか出てへんから、あとは、機能的にその考えを具体的な方法で申し合せたらいわけや。

こんどのあつまりで、そういうことのひとつでもできたらいいなあと思うな。



(ウリ事務所 5/27夜)



前号の「花の恋物語」をカレやんにつづく、今号も自由連合、助っ人論という形で、(今号運動)の展開です。さつぱらんに気軽に書いてます。が内容は、さつぱらんに重大なことが出てくるつもり。ぜひみなさんの批判、感想、おしらせをください。

# 反原発

**「胞子」 ¥50**  
**反原発きのこの会 発行**  
 名古屋市昭和区花見通1-59  
 111名文庫内  
 ・この頃、表紙(絵)がステキ!  
 内容も充実。

**「反原発わかさ通信」**  
**わかさ通信編集発行**  
 ¥200  
 福井県小浜市小浜郵便局  
 私書箱4号  
 ・現地発行ニュースでは、これ  
 が一番、といつも感心して読む。

**「死刑廃止」の会 報**  
 東京・港区新橋2-8-16石田ビル  
 4F  
 ・参加している一人一人の熱意  
 が伝わってくる紙面! ¥10

**「なんでもニュース」 ¥50**  
**なにがなんでも原発に反対する会**  
 摂津市正雀4-8-39 竹内  
 ・まさに、女の井戸端会議をそ  
 のまふうしたしたのしさ!

**「たんぽぽしんぶん」**  
**増刊号 ¥100**  
 ・空塚市空塚郵便局私書箱2号  
 ・獄中者に、とても人気がある  
 のはなんでやろ。  
 それは……



6月22日(火) P.L.P.会館 6時半

反原義松大寺子屋

「あああざしや・高遠増城炒もんじゅ」

7月2日「もんじゅ」にアリング阻止・

現地斗争への結集のよびかけがまきています。

あなたはいますか——私たちと:

主催・原子力はめんだ労働者連合会

6・15デモへ 6時半 中島公舎

「反戦・反核・反母体・反原発」

(集会)いま改めて白米韓軍事体制を問う

(デモ) P.M.8時 中央郵便局前まで

主催・いまこそ世直しを!市民連合

6月16日(木)つゆくさ 6時半

不払い連いは教室

「ビラのかき方・つくり方パートⅢ」

さて、今回はいよいよ題字のつけ方  
みだしのつけ方をつかみます。

そして、次にはビラの内容がもんだい、  
文章にも、かき方、こころえがあります。  
実力がつくこと受けあいます。(Y)

6月24(木)つゆくさ 6時半

「こんな奴は死刑だ」

「と云う前に」

たんぼ図書館講座

死刑に賛成の人も

反対の人も、太いに

本書をだしあうて議

論したいのです。

簡単なもんだいで

はないと思いますか

ら... (A)

6月26日(土) 6時

神戸エンカウンターズ

フル・シネママッセージ

映画「死刑台のメロディ」

講演・現代と大逆事件」

講師 白井孝

「サッコとバンゼッティは

現代日本にもいる」

たんぼどしよかんメンバ

国家が誰を一番死刑にし

たがっているのかーという

ことを、サッコとバンゼッ

ティの事件はよくあらわし

ている。

一九八〇年代の日本でも、

この状況は同じだ。(N)

阪急東宝北口西出口より9分

TEL.0798-64-0000

6月18日(金)つゆくさ 6:30~

良心的軍事費拒否の会 特別講座

「草の根の反戦が始まる時—忠魂碑  
訴訟をおこして—」講師 神坂玲子

裁判の正体は、もうすっかりバレバレ  
や、という意見は、もっともやけど、私  
らは、いま「自衛隊のために税金が使わ  
れてるのは憲法違反や!」ゆうて裁判し  
てますねん。

忠魂碑訴訟は、勝ちましたね。長く、  
地味な、忍耐強い闘いやったと思います。

結果やないと思います。—人—人がは  
っきりと、権力に対して、異議を申し立  
てること、不服従の意志を表わすことこ  
そが必要やということを、神坂さんたち  
は示されたのです。

出来ることは、やらなくっちゃ。(F)

6月20日(日)午後二時

垂水年金会館4F大ホール

イレイン・マイアン・ク

ラウドさんは語る。

インディアン自立をめ

ざして、彼女の仲間二十三人

は契りを交わして立

ちあがった。...その

23人のうち20人

は暗殺さ



被害別  
公差  
反反反



宇利ろふかろつあゆみ

あふろふ

振替口座 大阪一三三七三七

ウリジャパン向付